

# こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO  
NEWS

2006.10.15 No. 176 発行／〔こどもの城〕広報部 ☎03-3797-5674  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



画面全体が、ぼんやりと輝いている。乳白色のレジ袋が、ぼんぼりのように光を放つ。緑色のネットの細かい目が、レジ袋と私の間に割り込んで、さらに光をあいまにする。

光にはいろいろな表情がある。晴れた日の光は強い。光と影がきわだつ。曇りの日は、雲の中で乱反射した光がやわらかな光となって、あたりを均等に照らす。

朝の光、昼の光、夕方の光。夏の光、秋の光、冬の光、春の光。山の光、平野の光、海の光——光にあわせて、私たちもいろいろに輝く。

(写真：中根静男／文：たかべ としき)



## 全国児童館おりがみ作品展 10月28日～11月19日 (こどもの城)ギャラリー

みんなの



「全国児童館おりがみ作品展」が、10月28日から(こどもの城)ギャラリーで開かれます(11月19日まで。月曜日休館)。テーマは「みんなの宝」——それぞれにいろいろな宝があると思いますが、みんなで考えた「宝」を折り紙で表現した作品が展示されます。北は北海道から南は鹿児島県まで全国各地の児童館・児童センターに集う子どもたちが作った26個の宝(作品)が集まりました。

全国の児童館・児童センターに集う子どもたちが作った26作品を展示

作品作りに取り組み、上里町立長幡児童館(埼玉県)と山口県児童センターの活動を取材しました。

### みんなの顔が違いうように折り紙にも個性

「みんなの宝って何?」と長幡児童館の児童厚生員の嶋崎信子さん。放課後児童クラブの子どもたちにたずねます。この日は、2・3年生を中心に20数人が集まりました。子どもたちは「なにかなあ」と考えます。しばらくすると、「いのち」「友だち」「いぬ」「家族」「地球」「ねこ」——子どもたちの「宝物」がいろいろと飛び出します。一人ひとりの思いがこもった宝物です。

「一つの作品にするんだけど、どうしようね?」。もう一度考えます。みんなの意見を大切にしながら、一つの作品にするにはどうすればいいか——難しい問題です。「いろいろな宝物があっても、世界中の人がなかよくなければ、宝のもちぐされになってしまうでしょう?」と嶋崎さん。さらに考えます。「ここにみんなが、「自分」を折って世界地図の上でつなぐというのはどうだろう?」、子どもたちの表情はパッと明るくなりました。気に入ったようです。

さっそく、折り紙で自分を作る練習。講師は、日本折紙協会講師の満洲美智さん。折り紙を半分に切った長方形のもの3枚と少し小さめの折り紙1枚の計4枚で作る「人」です。まずは、顔(頭)。小さな折り紙を使って折っていきます。ちょっとした折り方の違いで、顔の形や表情が違ってきます。「一人ひとりの顔が違いうように、折った顔もみんな違います」と満洲さん。子どもたちが作った顔は、一つひとつが個性的。周りの人が作った顔と自分が作った顔を見比べて、表情の違いを楽しんでいました。



長方形のものを使って、2つの脚(体)と腕を作ります。2つの脚の組み合わせかたで、踊っているようにも、走っているようにも、すっくと立っているようにも見えます。腕も、取り付ける角度などで表情が変わってきます。ひたいの所に手がくるように作った女の子は「これ、おまわりさん」。かわいらしく敬礼しています。中わり折りした足先を広げて、テーブルの上に立たせようとがんばっている子もいます。基本を守りながら、アレンジができるところは思い思いに工夫して楽しんでいました。

「今の3年生が1年生のとき、女の子が多かったので折り紙を取り上げたら、子どもたちはすごくまわって……。本をみながら壁面を飾る折り紙作品を作りました。2年生になったとき、『全国児童館おりがみ作品展』のことを知って、聞いてみたら「やってみる」というので、昨年初めて出品しました。作品作りをとおして、指導する職員と子どもたちの間にもう一つのきずなが生まれました。

1年生のときから折り紙に親しんできた今の3年生は、みんな手先が器用。乳幼児向けプログラム「おはなしちゃちゃちゃ!」のお知らせメッセージカードには、子どもたちに手伝ってもらって作った折り紙を使っています。折り紙が折れるということで、子どもたちがそれぞれに自信を持ってくれば——と、日常の活動のなかでも折り紙遊びに取り組んでいます。

**上里町立長幡児童館** 上里町は埼玉県の最北端に位置し、2つの川を境にして群馬県に隣接しています。5つの小学校があり、それぞれの学区に児童館があります。長幡児童館には、児童クラブ室、体育遊戯室、図書室、創作活動室などがあります。「長幡児童館放課後児童クラブ」のメンバーは43人(1～3年生)で、長幡小学校の同学年の子どもたちの約1/3が利用しています。電話=0495-35-3545



### 上里町立長幡児童館(埼玉県)



### 「思い出」という見えない宝物を作品に

山口県の「宝物」を全国の人に知ってもらおうと、取り上げる題材は「錦帯橋」。山口県東部の岩国市にある長さ約200mの5連の木造アーチ橋。たくさんの観光客が訪れます。山口市周辺の子もたちも、遠足・社会見学、夏の花火大会などで一度は訪れたことがある、親しみのある場所です。

夏なので、花火大会の思い出を折り紙で表現することにしました。郷土のほこる名勝の地で、楽しいひとときを家族や友だちと過ごした、「思い出」という目に見えない宝物を折り紙であらわします。花火を見ているたくさんの人は、一つひとつの形が異なるだけでなく、込められた思いも異なるのです。

折り紙作品作りは、「音楽クラブ」(幼稚園の年中・年長児24人)、「手作りクラブ」(小1・2年生16人)、「わくわくどきどきクラブ」(小3～6年生6人)の子どもたちと「山口県児童センター母親クラブ」のお母さん80人が中心となって、児童センターに遊びに来た人たちも加わって行われています。制作場所が人通りの多い玄関ロビーなので、たくさんの人の目にとまります。スタッフも「いっしょに作りませんか?」と呼びかけるので、だれもが気軽に参加して折り紙を折っていきます。取材に訪れた日も、一つのまにか人数が増えて、あちこちで折り紙を折っている姿が見られました。

出品するのは、今年が2回目。「一度は出品してみたい」と思っていた児童厚生員の佐々木裕子さんが、「こどもの城」で開かれた講習会の帰りに展示されている作品を目にして、「自分たちの手で作って出品しよう」と思い立ち、さっそく行動に。昨年の「おいでませ山口へ」に続いて、今年は錦帯橋の花火大会をテーマにした作品を出品することにしました。

「児童センターにあるものを使って、作っています」と佐々木さん。研修会を開いたときに使った紙や絵の具を再利用したり、新聞紙を利用したり、使う素材にはさまざまな工夫とこだわりがあります。折り紙の用紙は、白い紙をアクリル絵の具で色づけしたもの。絵筆のかすれ、色のぬり重ねによる変化などを生かした用紙。造形遊びをしたときの方法が使われています。色がぬられた紙は、人や橋のパーツなど折るものに合わせて、それぞれの大きさにカットします。同じ色・がらのものは2つとありません。さらに、折ったときにうらの白地がでないように、張りあわせてあります。

「紙を2枚重ねると、しっかりと、折ったときにすっきりした感じがでるんです」と佐々木さん。形だけでなく、質感や色にもこだわります。「同じ色でも絵の具の重なりが違い、手ざわりも違ってきます。絵の具が厚かったところは、つやがあったりします」。

身近な造形素材である紙の性質(色、質感、てざわりなど)を生かして、折る楽しさだけでなく、紙そのものを楽しむ作品にもなっています。



### 山口県児童センター

**山口県児童センター** 山口市のほぼ中央にある「維新百年記念公園」のなかにあり、周辺には陸上競技場、テニスコート、山口県スポーツ文化センターなどのスポーツ施設が集まっています。児童センターは、鉄筋コンクリート造り(一部2階建て)で、延べ床面積は約2,300㎡、大・小のホールのほか、プラネタリウム、体育室、工作室、遊戯室、展示ホールなどがあります。電話=0839-23-4633

### 「全国児童館おりがみ作品展」参加児童館・児童センター

**壁面作品**＝札幌市平岡みどり児童会館／同・ひのまる児童会館／矢町町不動児童館(岩手県)／水戸市ふれあいの館／上里町立長幡児童館／川崎市有馬こども文化センター／新潟市児童センター／金沢市靱月児童館／三島市民生涯学習センター内児童センター(静岡県)／京都市大塚児童館／えひめこどもの城

**立体作品**＝札幌市丘珠ひばり児童会館／同・中の島児童会館／福島市東浜児童センター／栃木県子ども総合科学館／北区桐ヶ丘児童館(東京都)／石川県立中央児童会館／同・小松児童会館／神戸市立榎谷児童館／同・岩岡児童館／姫路市立北児童センター(兵庫県)／山口県児童センター／今治市伯方児童館(愛媛県)／川副町児童館(佐賀県)／合志市西児童館(熊本県)／キッズランド児童館(鹿児島県)

### 「おりがみカーニバル」も

土・日曜日、祝日には  
折り紙のワークショップ

「全国児童館おりがみ作品展」にあわせて、「おりがみカーニバル」(日本折紙協会と〔こどもの城〕の共催)が10月28日～11月19日にギャラリーで開かれます。

日本折紙協会会員のみなさんが工夫をこらした作品を多数展示。さまざまな折り紙作品にふれることができます。また、期間中の土・日曜日、祝日には、だれでも参加できる「折り紙のワークショップ」も行われます。

## 人と地球の、自然なサイクルのために。

人と自然が調和する持続可能な社会の実現をめざして、富士通グループ15万人、ひとりひとりの力をすべて結集します。私たちは、最先端のITと、環境テクノロジーをベースにお客さまにご提供する製品、ソリューション、マネジメントなど事業活動の全領域を通じて、さまざまな環境活動を行いながら、豊かな地球環境の未来を創造していきます。

すべてをグリーンにします

jp.fujitsu.com/about/eco



THE POSSIBILITIES ARE INFINITE



開館記念・ファミリーウィーク特別期間

【こどもの城】は1985年(昭和60年)11月1日に開館しました。開館記念の前後は、開館記念・ファミリーウィーク特別期間。10月28日～11月5日(10月30日休館)は、家族で楽しめるプログラムがいっぱい。開館時間は、10月28・29日、11月3～5日が10時～17時30分、10月31日、11月1・2日は12時30分～17時30分(1日は「赤ちゃん大集合」のため、一部は10時に開館)。11月3日は18歳未満(子ども)の入館料は無料になります。

家族で遊ぶ、みんなと遊ぶ

親子のふれあい体操(10月29日・11月3～5日/体育室)

サッカー、鬼ごっこ、体操—体を動かすスポーツ遊びに、親子で挑戦。約1時間のプログラム。「親子で○○」以外は、子どもだけでも参加できます。

- 10月29日 「親子でサッカー」(14時～)
「ウォールサッカー」(16時～)
11月 3日 「親子で遊ぼう」(14時～)
「鬼ごっこ」(16時～)
11月 4日 「親子で遊ぼう」(14時～)
11月 5日 「親子で体操」(14時～)
「体操アラカルト」(16時～)



親子でサッカー

1・2歳の親子体操「1・2・ジャンプ」(11月3日 10時30分～/体育室)

スキンシップをとりながら楽しく汗を流します。対象は1・2歳の子どもと親。

ファミリーでスポーツ遊び「ファミリーサタデー」(11月4日 10時30分～/体育室)

「ビッグサタデー」のファミリー版。家族みんなでスポーツ遊びに挑戦。

2・3歳の親子体操「2・3・スキップ」(11月5日 10時30分～/体育室)

ダイナミックにほがらかに体を動かす親子体操。対象は2・3歳の子どもと親。

ファミリースイミング(10月28・29日、11月3～5日/プール)

プールの一部にフロアを置いて、水深の浅いファミリーコーナーを設けます。※利用料=大人300円、小学生=17歳200円、幼児100円。利用時間=10月28日、11月4日が13時30分～16時、10月29日、11月3・5日は10時30分～17時

わくわくパペットランド(11月3～5日 13～16時/プレイホール)

身近な素材で人形を作り、作った人形で遊びます。11時30分から人形劇の上演もあります。

似顔絵ペインター(期間中毎日/パソコンルーム)

自分の顔、家族の顔—デジタルカメラでパソコンに取り込み、マウスでなぞって、似顔絵をかきます。

第13回親子体験ワークショップ(期間中毎日/造形スタジオ)

新聞紙を丸めて形(胴体)を作り、蛍光のカラーペーパーの小片を並べた和紙の上のせて、くるみ、針がねの足をつけます。ブラックライトで照らすと光を放つ「ひかるおやこむし」(写真)を作ります。土・日曜日、祝日に開かれる「クリエイティブコーナー」では、「クルミー」(小3～)を作ります。



【こどもの城】には楽しいプログラムがいっぱい

音楽ロビーでは、「うたってハッピー」「いろいろな楽器やってみよう」(期間中毎日)のほか、「いろいろな楽器コンサート」(10月29日、11月3・5日)、「おはなし人形広場」「不思議な映像実験室 くるくるアニメをつくらう」(10月29日、11月4日)、「赤ちゃん特等席はぶりんパラダイス」(10月31日、11月2日)など。保育室では「1・2歳児のよちよちクラブ」(11月4日)も行われます。また、ビデオライブラリー、プレイホール、屋上(屋上遊園、ネット広場、プレイポートなど)で、いろいろな遊びを楽しむこともできます。

ドルッチャワークス

“はたらく”ことを遊びのなかで体験

12月16・17日「東京渋谷発 ドルッチャワークス～こどもの城DEお仕事体験～」

“はたらく”ことを遊びのなかで体験する—をテーマに、「東京渋谷発 ドルッチャワークス～こどもの城DEお仕事体験～」が12月16・17日に行われます。“職場・職業体験”を遊びのなかで体験してみようという新しい試みです。どのようなプログラムにするか、プロジェクトチームを作って検討しています。

“はたらく”とはどういうことか考えてみました。いろいろな意見がありました。誰かに認められること・喜んでもらえること、役割も

って人とかかわること(コミュニケーション)の2つが重要なポイントではないかと考え、遊びのなかで体験してもらおうと考えています。

例えば、音楽・造形・スポーツ遊びなどで体験したことを、自分のなかだけにとどめておくのではなく多くの人に伝える(表現する)ことで、誰かに認められるという“はたらく”喜びの体験。【こどもの城】のスタッフと一緒に運営する側に立って、それぞれの役割をはたすことで多くの人とかかわるコミュニケーション体

験—など、楽しく遊びながら“はたらく”体験ができるプログラムを検討しています。中・高校生の「アレンジメントス

タッフ」は、定員を超える応募がありました。10月下旬から定期的に集まって、ドルッチャワークスのプログラム作りをしていきます。

わいわいスタジオ特別プログラム

11月19日 おはなしコンサート『シャーロットのおくりもの』

生演奏バックに2人の声優が朗読

わいわいスタジオ特別プログラム「声優による朗読と音楽のコラボレーション おはなしコンサート シャーロットのおくりもの」が、11月19日にBスタジオで開催されます。公演は、13時30分と15時30分の2回。『シャーロットのおくりもの』は、23か国・4,500万読者に愛され続

けている、E・B・ホワイト作のロングセラー。子ブタとクモと少女がおりなす、楽しくてわくわくするような物語。キーボード演奏をバックに、声優の兵藤まこさん、安井邦彦さんが朗読します。

参加費は無料ですが、【こどもの城】の入館券が必要。満員の場合はお断りすることもあります。



走れ! キャッスルトレイン

10月21～29日 フリーホール

Nゲージの鉄道模型を走らせて楽しむ「走れ! キャッスルトレイン」が、10月21～29日(23日は休館)にフリーホールで開かれます。火～金曜日が13～17時、土・日曜日が11～17時(29日は16時まで)。ちびっ子に人気のプラレールコーナーやパソコンコーナーもあります。

冬のキャンプ 参加者募集!

仲間と遊ぼう! 冬の自然と遊ぼう!

【こどもの城】では、冬休みにスキーや雪遊びを楽しむ野外活動「スキースクール パートI 1期」「同 2期」「ゆきんこ冒険団」を行います。仲間との出会いを大切にしたいプログラムです。概要は右記のとおり。参加申し込みは、それぞれの受け付け開始日の正午から、先着順に電話で受け付けます。資料請求、参加申し込みは企画研修部へ。

企画研修部 03-3797-5675へ おかけ間違いのないようご注意ください

Bスタジオの催し

10月15日、11月3日 手作り楽器のワークショップ

まわす烏笛・かもを呼ぶ笛 1時30分～2時、3時30分～4時 1時30分の回が「まわす烏笛」、3時30分の

10月22日 不思議な映像実験室 絵が動いてみえるおもちゃの展示とワークショップ 11時～5時

10月29日 手作り楽器のワークショップ かつこう笛 1時30分～2時、3時30分～4時

11月5日 かわいいスタジオ オラ! フラメンコ 1時30分、3時30分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

11月12日 子どもの城映画館 カナダのアニメーション 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

「赤ちゃん大集合」は11月1日

3か月～2歳の「赤ちゃん」とその保護者を対象に、親同士で子育てについておしゃべりしたり、歌遊び、手遊び、スキンシップ遊びなどさまざまな「親子遊び」が楽しめる「赤ちゃん大集合」が、11月1日に開かれます。1日は水曜日、【こどもの城】の開館時間は12時30分ですが、午前中からプログラムが行われる研修室と体育室は開館します。受け付けは10時からエントランスホールで行います。



赤ちゃんサロンスペシャル

赤ちゃんサロンスペシャル(10時30分～15時/9階研修室)

「赤ちゃんサロン」のスペシャル版。お母さん同士の楽しい話の場。小児科医師の「Dr.ゴロートーク」(13～14時)もあります。小児科医師、保健師、管理栄養士、臨床心理士など、子育ての専門家のアドバイスも受けられます。

みんなで遊ぼうにこにこパーク(10時30分～15時/9階研修室)

ボランティアが運営する、乳幼児親子のための遊びとくつろぎの場。

ごろごろ ハイハイ(10時30分～11時/体育室)

ハイハイするぐらいの子どもを対象に、親子で一緒に楽しい体操、手遊び。

たっちたっち タッタッタ(11時10～40分/体育室)

伝い歩きするぐらいの子どもを対象に、親子で一緒に楽しい体操、手遊び。

てくてく ピョンピョン(11時30分～14時/体育室)

ひとり歩きできるぐらいの子どもを対象に、親子で一緒に楽しい体操、手遊び。

It's a ベビーワールド(14時10分～15時/体育室)

自由遊びの部屋。体育と保育のスタッフが親子遊びのアドバイス。



あそんでバブリン

みんなでニコリン(13時30分～14時/音楽ロビー)

親子でホットと楽しめる広場です。

みんなのにこにこ広場(15時～15時30分/プレイホール)

人形劇で、おはなしを楽しみます。

うたってバブリン(14時～14時30分/音楽ロビー)

楽しい歌がいっぱいの楽しいコンサート。

あそんでバブリン(14時30分～15時/音楽ロビー)

手遊びや歌遊び、楽器の音にあわせて踊ったりして遊びます。

車のおもちゃ広場(開館時間中/ビデオライブラリー)

車のおもちゃで遊べる広場。いろいろな遊びができます。

情報展示コーナー(11時30分～15時30分/8階研修室)

ベビー用品の紹介。商品サンプルのプレゼントもあります。

平成19年度「児童福祉週間」標語募集(10月31日必着)

平成19年度第61回「児童福祉週間」標語を募集しています。“次代を担う子どもたちからの発信”をテーマに、元気ががんばる子どもたちを応援するもの、未来に向けての子どもたちからのメッセージになる標語です。

締め切りは10月31日(必着)。どなたでも応募できます。最優秀作(厚生労働大臣賞)には、賞状・賞品および記念品が贈られるほか、児童福祉週間標語として活用されます。

【応募先】〒105-0003 東京都港区西新橋3-3-1 西新橋TSビル8階(財)こども未来財団「標語募集」係

ファクス番号 03-6402-4830

http://www.kodomomiraizaidan.or.jp/

お知らせ 11月14日(火曜日)「埼玉県民の日」【こどもの城】は10時に開館。たくさん遊んでいってください。

ねらい定めて“割りばし鉄砲”

「ファミリープレイタイム」今回は、12月10日

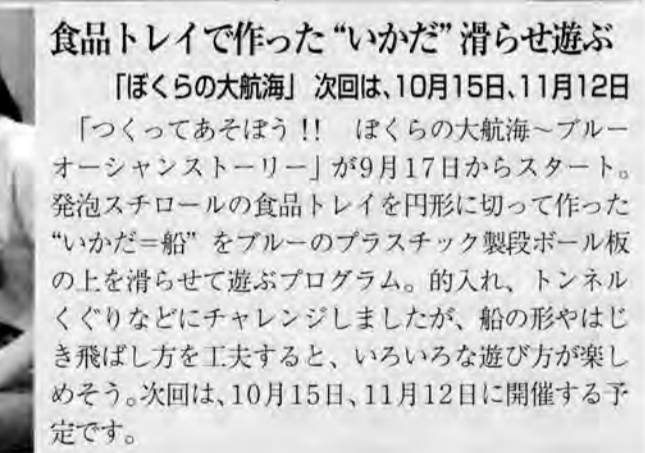
家族一緒にゆったりと遊びを楽しむ「ファミリープレイタイム」。年数回、日曜日・祝日にプレイホールで行われています。9月17・18日には、「割りばし鉄砲」を作って、的当てを楽しみました。材料は割りばしと輪ゴム。身近にあるものばかりです。割りばしを組み合わせて、輪ゴムを何重にも巻き付けて留めていきます。子どもたちはさっそく、輪ゴムを飛ばしての当てを楽しんでいました。今回は12月10日、内容未定。



食品トレイで作った“いかだ”滑らせ遊ぶ

「ぼくらの大航海」今回は、10月15日、11月12日

「つくってあそぼう!! ぼくらの大航海～ブルーオーシャンストーリー」が9月17日からスタート。発泡スチロールの食品トレイを円形に切って作った“いかだ=船”をブルーのプラスチック製段ボール板の上を滑らせて遊ぶプログラム。的入れ、トンネルくぐりなどにチャレンジしましたが、船の形やはじき飛ばし方を工夫すると、いろいろな遊び方が楽しめそう。今回は、10月15日、11月12日に開催する予定です。



第38回バンパー大会終わる

笹原さん(小学生の部)と王さん(中学生の部)が優勝

第38回バンパー大会が9月3日に開かれました。小学生の部9人、中学生の部4人が参加。1回のミスが負けにつながるという息詰まる熱戦



が繰り広げられました。右の写真は小学生の部の出場者のみなさん。大会結果は以下のとおり(敬称略)。

【小学生の部】優勝: 笹原彰人(小5) / 準優勝: 畑森太郎(小4) / 第3位: 石内良介(小6)、大塩銀貴(小4)

【中学生の部】優勝: 王英力(高1) / 準優勝: 水沼紗恵(中1) / 敢闘賞: 小川優太(中3)

青山劇場 03-3797-5678 http://www.aoyama.org

青山円形劇場 03-3797-5678

おもしろビデオ館 金曜日 3時30分～4時 Bスタジオ